

男女共同参画推進協議会(第12次)議事録 (第2回)

開催日	令和8年1月28日(水) 14:00～16:00	場 所	男女共同参画センター4階ホール
出席者	・委 員:桜井委員(会長)、山田委員(副会長)、石田委員、酒井委員、田中委員、彦坂委員、室園委員、山本委員 (欠席:川田委員、松村委員) ・松戸市:鈴木男女共同参画課長、事務局(今井、藤井、宮島)		
1 開会 (桜井会長) ～挨拶～			
2 報告事項 <事務局> 委員総数10名、出席者8名。 松戸市男女共同参画推進協議会条例第7条第2項の規定により会議の成立を報告。また傍聴の申し出はなし。			
3 議事 (1)議題1:「第6次実施計画の概要」について <事務局> ～配付資料3に基づき説明～ (桜井会長) 現在、国では第5次男女共同参画計画、松戸市では男女共同参画プラン第6次実施計画が進行中で、3月までに公表予定の国の第6次計画を踏まえて、松戸市では第7次計画を策定していくことになる。 松戸市の第6次計画では、前回からの変更点として「防災」、それから「多様な性を尊重する社会づくり」、これは「LGBTQ」を意識している。またコロナ感染症による社会の変化などを厚く盛り込んだ計画になっている。 令和10年度には第7次計画がスタートするので、その時、今の社会情勢を踏まえて何を盛り込んでいくのか、皆さんと意見交換していきたい。まず、松戸市の第 6 次計画についての感想などをうかがい、併せて、第7次計画になにを盛り込んでいくべきかなどについてもご意見をいただきたい。 ～以下、意見交換～ (室園委員) この第6次計画は、第5次計画よりもすっきりした感じがする。分かりやすくなった。 現在、国が第5次計画で松戸市が第6次計画ということは、松戸市の第1次計画時、国は無かったの			

か。

(桜井会長)

松戸市の計画が早かった。私もこの第6次計画はうまくまとめられていると思う。

(彦坂委員)

すごく進んでおり、キーワードも時代を反映され、また「防災」や「感染症」を織り込んでる点が先進的だと思う。

(山田副会長)

全体的には本当に網羅された目標になったと思いつつ、実績でいうと着手できているところと、難しいところがこの数年で見えてきた。

第7次計画に際しては、そこをどう考えていくかが大事である。また文言的に「ワーク・ライフ・バランス」が書いてあるが、今は「ワーク・イン・ライフ」など、生活を充実させていく考えの方が比較的主流になっているので、その辺りを取り入れていけたらと思っている。

(桜井会長)

そのことで言うと、「ワーク・ライフ・バランス」というキーワードに代わり、国の第6次基本計画(案)では新たに「well being」、幸福な暮らし、というキーワードが出てきた。

(石田委員)

第5次計画の時から比べたら本当に時代に合って分かりやすい。ただ「防災」については、松戸市はまだだと実感している。また普段感じるのが、育休を取るお父さんが増えてきたことにより、違う課題が出てきている。さらに教育面においても、子供は教育されているが大人が全然追いついていないことを実感しており、その辺りが議論できればと思っている。

(酒井委員)

私はこの推進協議会は30年前やらせていただいたが、その時代に比べたら非常に問題点がクリアに、また具体的になってきたと改めて感心している。

(田中委員)

概要を拝見して大変バランスもよく、また特色もあると思っている。今後あり得ることとして、課題8、「生涯を通じた健康支援」、女性の健康に関する指導及び啓発のところで、女性の更年期だけではなく、男性にも更年期があると言われているなか、女性だけでいいのかと感じた。バランス上、男性にも自分の体を相談できる場所があることを周知するようなアプローチがあれば感じた。

(山本委員)

男性の育児休業は、私どもの職場にもおり、国の機関として育休は取得させるということが大原則になっている。今、40人強の職場で、女性職員も含め3人育児休業取得中という状況にあり、代替職員は採用補充するが、休業取得職員と同等のスキルを求めることは当然無理なため、利用者へのサービスが低下しない取り組みの推進に苦労しているのが現実である。

民間会社についても、男性の育児休業は育児・介護休業法で301人以上規模の企業に年1回の取得状況を公表する義務とされており、そのバランス取りが大変だと思う。

(2)議題2:「第6次実施計画における令和6年度実績の評価」について

<事務局>

～配付資料4、5に基づき説明～

～以下、意見交換及び質疑応答～

(室園委員)

方策3「市職員の男女共同参画の推進」の1、「男性職員の育児休業取得率」の数値が上がって驚いた。取得が当たり前という感じになっている。

その下の指標、「両立支援制度に満足している割合」はどのようなアンケートか、また誰に対して誰が行い、満足している84.7%は、男性も女性も同じぐらい満足しているのか。

<事務局>

毎年、人事課が「次世代育成パンフレットを知っているか」、また「その制度に満足しているか」等を、全職員に対してアンケートを行っている。なお令和6年度は女性85.4%、男性84.2%である。

(桜井会長)

市職員だけでなく、男女共同参画を市全体で底上げするため、民間企業で働く市民もこの数字になるよう、次の第7次計画の中で、どう方策を立てていくかが課題。

(石田委員)

子育てに関する課題として、親が2人だけで頑張ってしまうということが挙げられる。育休の男性がいることで助かる面はあるが、例えば「おやこDE広場」に来なくても済むなど、誰にも頼らない考え方になってしまう。2人で頑張ることはいいことだが、もっと地域を頼ってほしいところもある。また育休は取ったけど早く仕事へ行ってほしいと思われてしまう。

育休終了後も、早く帰宅する意識があればいいが、仕事に専念してしまうと全く意味がないなどの課題が見えてきた。

(山本委員)

この市職員の取得期間は何日のカウントか。

<事務局>

1週間ぐらいの人もあるし、1ヶ月、長いと半年、1年ぐらいの人もある。1ヶ月ぐらいの人が多い。

(酒井委員)

その間の部署での体制は。

<事務局>

完璧にフォローできるまでの体制は整えられていない課題がある。

(山本委員)

全体的に見て、目標値に「割合」「人数」などバラつきがあり、目的として狙いがあればそれは分けても構わないが、次の計画に向け目標値を整理するなど、その辺りの考え方を教えていただきたい。

また課題の1の、「審議会等における女性委員の割合」を目標値として定めているが、なぜふたつめに農業関係の指標があるのか。

<事務局>

農業委員等については、第6次計画以前から指標として「人数」としているが、人数が少ないところに「割合」だと、1人か2人かで大きく変化すると思っている。

(桜井会長)

農業委員は女性が少ないというところで国でも課題となり、「三ちゃん農業」ではないが、農家に携わる女性が増えているにもかかわらず女性委員が少ないので、国でも指標にしたという経緯がある。

(山本委員)

例えば、別の自治体では土地改良区があり委員といわれる方もいたりするので、この農業については、「審議会等」に含めていいのではと思ったところである。

(桜井会長)

なぜ「農業委員」を別に指標としているかは、事務局で整理していただいて、次回以降、その考え方を報告してほしい。

(室園委員)

この「審議会等」は、例えばどんなものがあるのか。また、その委員の人数を全部足すと 1,100 人ぐらいで、その中で 300 人が女性ということか。

<事務局>

この「男女共同参画推進協議会」も入っており、様々な分野において設置している第三者委員会などで、その委員総数の女性割合が指標となっている。

(彦坂委員)

以前、農業は1番遅れているという議論があったと思う。農業委員が本当に1番少ないし、難しいという所の象徴的な扱い、かつデータが取り取りやすいというところで、別途、指標にしたと思う。

(田中委員)

課題2、「在宅介護者の介護離職率」で、令和3年度 6.5%だったものが、令和5年度で13.2%と 2 倍ぐらいになっているが、どういう経緯か。令和9年度目標値 5.9%だが、こんなには跳ね上がってしまって、これは一時的なものなのか、それとも恒常的なものなのか、或いはそもそも基準が違う可能性があるとか理由を教えてほしい。

<事務局>

介護基本計画では市民意識調査をやっているが、恐らく聞き方や基準などが、どこかのタイミングで変わってしまったと思われる。

(桜井会長)

そこは事務局で確認してほしい。

(彦坂委員)

「実数」でしか取れないもの、それから「割合」でないと公平に示せないものがあり、この項目は「実数」、あの項目は「割合」みたいな形でいいと思う。

ただ、ある指標で「実数」も「割合」も取れる場合、バックデータでその「実数」が見られる、また割合で計算したい人は「割合」で出せるみたいに、そのデータにアクセスしやすければ、表示もバックデータに基づいて、今年から「割合」の方がいいとか、少し柔軟性が出ると思う。

(石田委員)

「実数」が1だと「割合」が大きく変わるので、その場合の目標値は設定しづらいと思う。もっと増えて分母が大きくなるか、その割合が大きい数になれば、「割合」で対応した方がいいと思うので、時代によって表示単位も変わった方がいいかもしれない。

(酒井委員)

課題6、「配偶者等からの暴力」の指標について、「DV があった人のうち、誰かに相談した割合」とあるが、DV にあったかどうかは、人に言わなければ分からないが、なぜ 21%が出てくるのか。

<事務局>

令和3年度市民意識調査の設問において、「あった」と回答した方のうち、「相談したか」という設問

を設け、その割合となっている。

(山田副会長)

「女性就労・両立支援相談」についてだが、そもそも人口減があり、また育休や退職しない女性が特に増えているところがある。あと辞めずに転職する選択も増えている。働き方も多様化し、在宅勤務の女性も増えているなか、求職希望者がどのくらい相談に来ているのか、人数自体をどう測っていくべきなのかなど、指標を見ながら感じた。

また、ひとり親の交流会の方も、ニーズとしてひとり親家庭、シングルマザーの状況を踏まえ、これまでどおり交流会でいいのかなど、やり方を臨機応変に対応する必要性を感じている。

(石田委員)

仕事との両立相談という意味では、「おやこDE広場」でそのような相談を受けることは逆に増えたこともあるので、多分、この指標だけで図ることは難しいと感じている。ひとり親に関しては、「おやこDE広場」で子育てコーディネーターの相談があるが、相談する人達が減っている。AI に聞くとか、働くのもハローワークに行かなくても仕事探すことができるとか、時代が変化している中で、目標値をどう設定していくか考えていく必要があると感じた。

それと1番気になるのが、やはり「防災」に女性がどれだけ関わるのか、意見を出せるかで全然違ってくと思った時、この数字でいいのか。

あと、例えば「子ども子育て会議」に出席をしているが、ほぼ女性委員である。そのような意味でバランスはどうなのか、例えばひとつの会議にはたくさん女性がいるけど、こちらは誰もいないとか、数字での評価は分かるが、そのことも頭に入れて考えた方がいいとは思った。

(桜井会長)

今回の実績値を見ると、ジェンダー統計になってない箇所がある。例えば課題5の2、「防災に関する啓発活動の実施回数」についてはどのような啓発活動を行ったか、その内容を見ていく必要がある。男女共同参画の推進という目的で啓発活動が行われたか否かを見る必要があるからだ。第6次計画の中には、防災分野等での女性の参画推進とか、性別等に配慮した対応を課題としているにもかかわらず、ジェンダー統計でその課題を反映する指標になっていないところは検討したい。

また課題4の1、「まつど地域活躍塾修了者数」が男女合計数だと、男女共同参画推進の視点からの指標にはならない。

それから、課題2の1、「まつど女性就労・両立支援相談者のうちの就労者数」だが、就労の場での男女共同参画の視点から、この指標でいいのか。国の統計で、松戸市など地域別で女性の就労率、詳しくは性別・年齢階層別就労率は公表されているので、その就労率を見た方がいい。以前、女性はM型カーブになっていて、結婚、出産、子育てで凹んでしまっていたが、これがどのくらい底が上がってきたのかを見るのも男女共同参画の視点というところで指標になると考える。

他に、「保育所の待機児童数」、「放課後児童クラブ待機児童数」は、もう既にゼロになっているので、これを継続するということでもいいのかと思う。

さらに、課題4の2、「町会・自治会長における女性の割合」はもう10%になっているので、目標値を10%のままでいいか。国の基本計画では、あらゆる分野でのリーダー的な存在、指導的役割の女性が30%を占めることを目標にしている。そこも踏まえると10%でいいのかと思うので、第7次計画においてどう捉えたらいいかということを考えていきたい。

(彦坂委員)

目標値があって、その数値の10%から30%を目指して上げていく一方、この範囲であれば、例え

ば40から60ぐらいを行ったり来たりしてたらいいのではないか、みたいな数値もそのうち出てくると思う。ある程度達成してきたら、その範囲で継続する目標でもいいと思う。

(桜井会長)

令和9年度には、第6次計画が最終年度となるので、そこでもう1度、実績値を見て、それから次の第7次計画を策定するときに、この目標値をどうするか検討する機会があるので、この続きは次回以降、検討していきたいと思う。

(3)議題3:「その他」について

<事務局>

～配付資料6～9に基づき説明～

～ 質疑なし ～

(桜井会長)

令和8年度は市民意識調査なども踏まえて、第7次計画を検討していく。その調査も、今回は民間企業等への調査も検討しているとのことで、それは今回の提言書にも記載されている。

この推進協議会は、皆さんのご意見を事務局が受け止めて次に進めており、とてもいい循環ができていると思っている。

～会議終了～

【配付資料】

- ・資料1 松戸市男女共同参画推進協議会 委員名簿
- ・資料2 男女共同参画社会基本法
- ・資料3 松戸市男女共同参画プラン第6次実施計画概要版(リーフレット)
- ・資料4 第6次実施計画の目標値に対する令和6年度実績値一覧
- ・資料5 令和6年度 取組内容(実績)及び今後の予定
- ・資料6 松戸市の男女共同参画推進に関する提言書(令和7年2月)
- ・資料7 国、千葉県の動向
- ・資料8 令和3年度市民意識調査について
- ・資料9 松戸市男女共同参画プラン第7次実施計画策定 全体スケジュール